

発達クリニック Can

保護者向けレクチャーのご案内

テーマ:読み・書きの苦手さについて考えよう

日本 LD 学会が開発した『LD・ADHD 等の心理体験疑似プログラム第3版』を使用し、学習障がいのある子どもたちが、勉強をする時に感じている自信のなさ、不安やいらだちを心理的に疑似体験してもらい、子どもの立場に立って支援について考えることをテーマとしています。「読む」「書く」「計算する」「聞く」「話す」「不器用さ」について、5つのステップでワークをしていきます。主に、体験する、上手いかなかった原因や気持ちを話しあう、支援を考える、講師からの解説を受けるというステップになります。それぞれのワークを通して、子どもの困難さや具体的な支援の手立てなどについて理解を深めていきます。

講師:発達クリニックCan 公認心理師 加藤暢子、謝花隆之

日時:2024年1月13日(土)、1月27日(土) 14:00~16:00(超過する場合があります)
(二日間参加可能な方のみ)

場所:発達クリニックCan 作業療法室

対象者:発達クリニックCanに通院歴のあるお子さんの保護者
(診療の一環として行いますので、通院歴のない方は参加できません)

持ち物:診療の一環としておこないますので、診察券と保険証、医療費助成など通常の受診に必要なものをお持ちください。

定員:10名

申し込み:事前申し込みが必要です。(先着順)

当院受付で申し込みいただくか、もしくは電話 098-973-7711 までご連絡ください。

*当日、託児は行っていませんので、可能な限り、保護者だけでお越しください。ただし、やむを得ない場合はお子さん同伴でも構いませんが、会場内で過ごしていただきます。

